

P検ガイド 2022
(2022/4~2023/3)
For PASS

進化するICT社会のパスポート

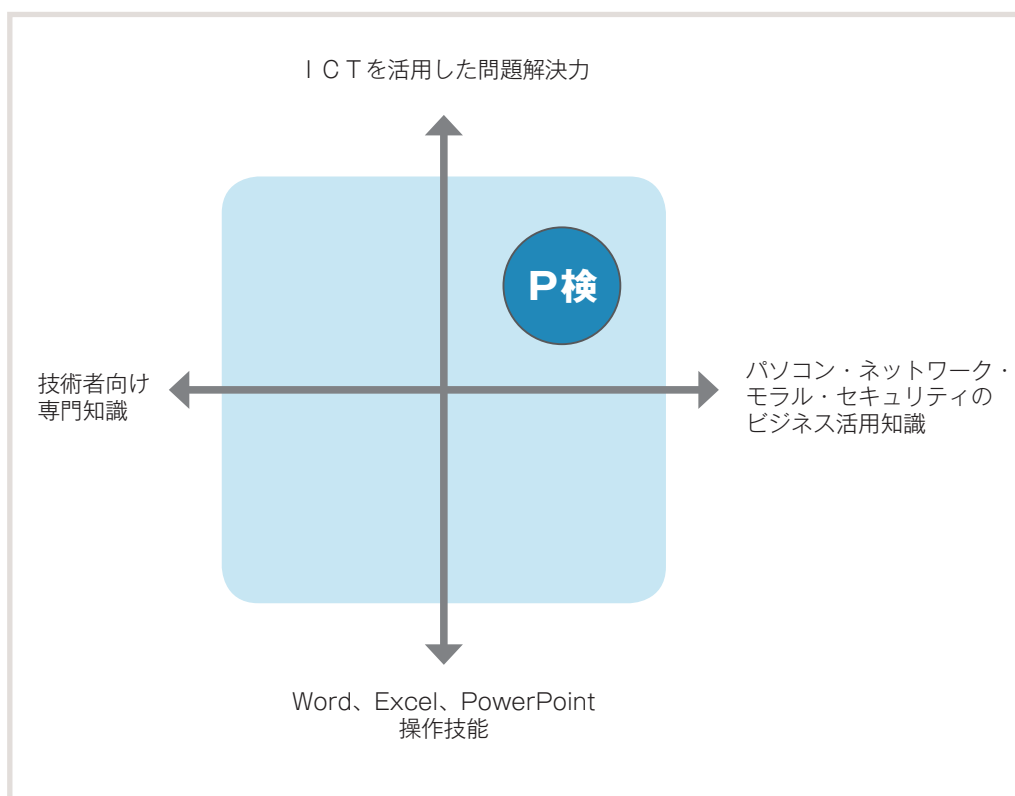
P検

《対応アプリバージョン》
Office (Word、Excel、PowerPoint)
2019/2016/2013/2010/2007

*昨年(2021年度版)とほとんど内容は
変わりありません。



P検のPはICTプロフィシエンシーのPです。



主催:P検協会(ICTプロフィシエンシー検定協会) 事務局(P検事務局):株式会社ベネッセコーポレーション

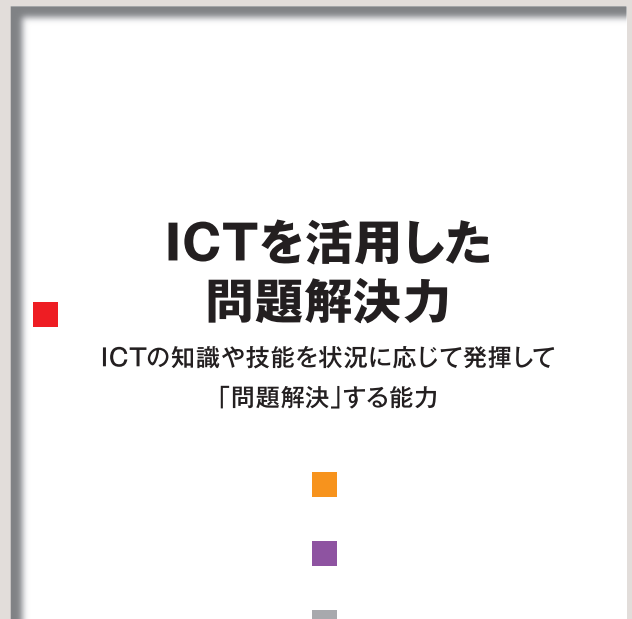
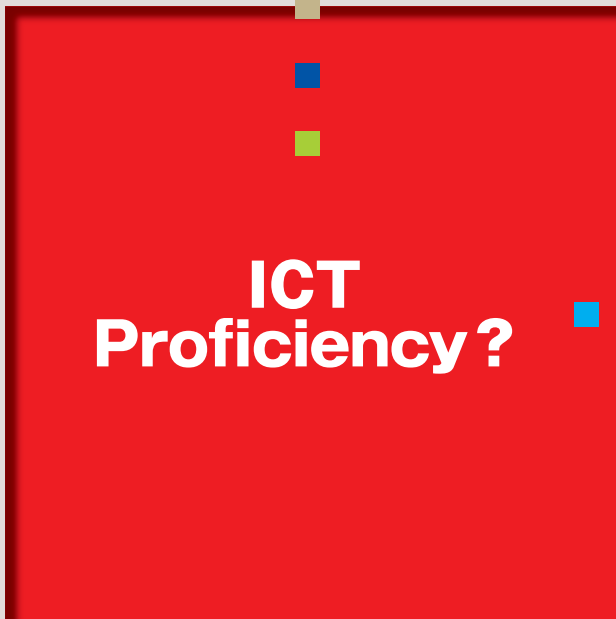
後援:一般社団法人 日本教育情報化振興会 (JAPET&CEC)、一般社団法人 情報処理学会 (IPSJ)、
日本教育工学協会 (JAET)、日本情報科教育学会 (JAEIS)、教育テスト研究センター (CRET)、
日本 STEM 教育学会 (JSTEM)、東京都高等学校情報教育研究会、全日本中学校技術・家庭科研究会

P検

検索



ICTプロフィシエンシーとは、 ICTを自由自在に駆使できる 力のことです！



ICTとは

「Information and Communication Technology」の略で「情報通信技術」の総称。
「IT」はコンピューターや情報技術のことですが、「コミュニケーション」が加わっていることから、
ネットワーク通信による情報・知識の共有を前提としている。
つまり、パソコンやモバイル端末、ネットワークは、情報を共有して活用するためにある。それが「ICT」です。

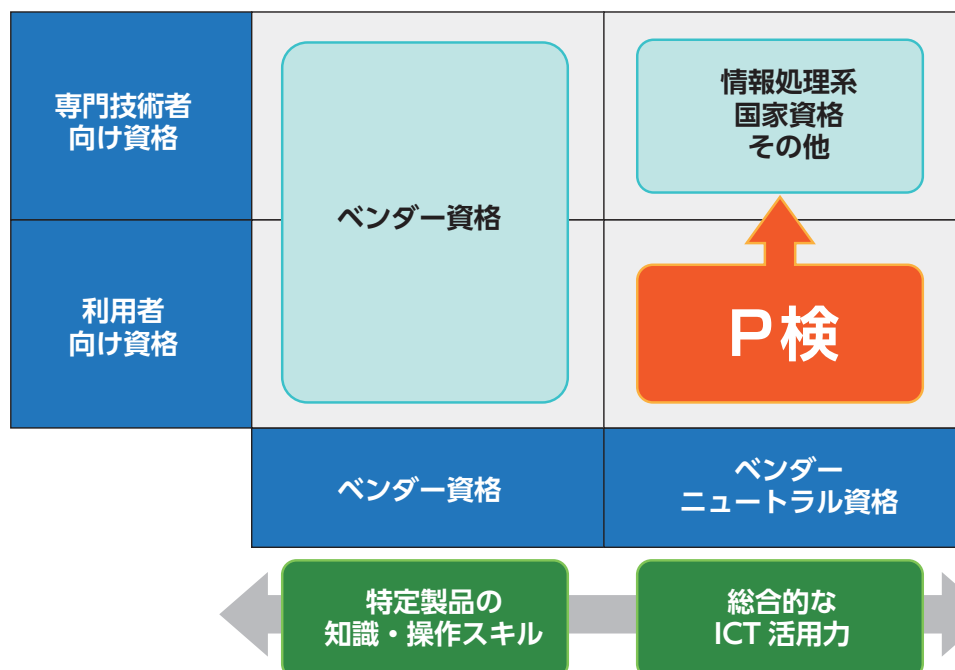
1 理念 P検は、「公平」・「公正」・「中立」を基本コンセプトとしています。

公平	特定分野のソフトウェアや業種・業務を対象にしたものではなく、一般的ビジネスシーンにおける全ての利用者と、学校で情報教育を学ぶ全ての生徒を対象として、総合的なICT活用能力を評価し、資格認定するものです。
公正	企業活用現場や学校教育現場の動向を踏まえた環境分析を行い、産学が連携して「公正で客観的な視点」を結集することにより、公正性を保った資格試験運営を図っています。
中立 (ベンダーニュートラル)	特定メーカーの特定アプリケーションについての資格試験ではなく、特定のハードウェアに偏ったり制約を受けることも無く、企業や学校などで標準的に使用されているソフトウェアやOS、環境などをベースにして出題されます。

2 ポジションマップ

- ・ P検は、全ての「利用者」を対象とした、「総合的なICT 活用能力」を問う資格試験です。
- ・ P検の上位には、情報処理系国家資格などが位置していますので、「専門技術者向け資格」を狙う方の「前提資格」としても最適です。

※ベンダー：製品のメーカーのこと
 ※ニュートラル：偏らず中立であること



1 「ICTプロフィシエンシー」獲得を目指した資格試験

「プロフィシエンシー」とは、知識や技能を現実の状況に応じて発揮する能力のことです。

英語の分野におけるプロフィシエンシーとは、現在進行形や過去完了形を見抜く知識を持っているということではなく、ホテルでチェックインができる、あるいはレストランでオーダーすることができるといったことを意味し、ICT活用の分野におけるプロフィシエンシーとは、HTMLのタグを知っている、表計算のSUM関数を知っているということではなく、著作権、肖像権、個人情報保護などの法的概念を遵守して自社ホームページの更新をすることができる、あるいは表計算ソフトで顧客別売上集計を行い、顧客動向を分析し解りやすくプレゼン資料にまとめることができるといったことを意味します。

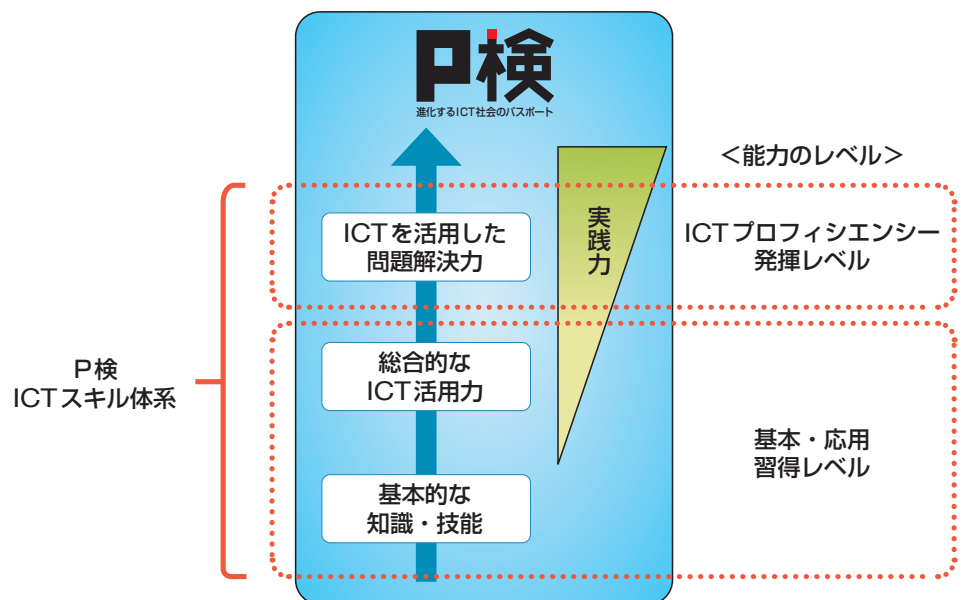
企業の職場で求められているICT活用スキルとは、断片的な知識・技能があるかないかではなく、「**職務遂行上の課題や問題を、自身が有する知識や技能を発揮して解決することができる能力**」です。

P検は、職場で求められるICTプロフィシエンシーが発揮されるべき状況を分析するため、①環境分析、②職務分析（人物像設定）、③出題項目の体系化、④問題作成（検証・試行）、⑤試験の提供、⑥試験の結果分析、などの分析ステップを通してICTを活用する人物像を設定しています。

これらの分析により、当該人物が発揮すべきプロフィシエンシーと、プロフィシエンシーを発揮するために必要となる知識・技能をカテゴリー毎に階層化し、一人一人をどのような基準で評価すべきかを策定しています。

これがP検の「ICTスキル体系」であり、「ICTスキル評価基準」です。

これによりP検は、どのような知識・技能を獲得しなければならないか、と同時に、獲得した知識や技能をどれだけ現実の状況の中で運用できなければならないかということを含んだ評価基準となっています。



P検のICTスキル体系は、上図の通り、「基本的な知識・技能」から「総合的なICT活用力」へ、そしてP検の獲得能力目標である「ICTプロフィシエンシー」までを段階的に身につけられるよう設計されています。

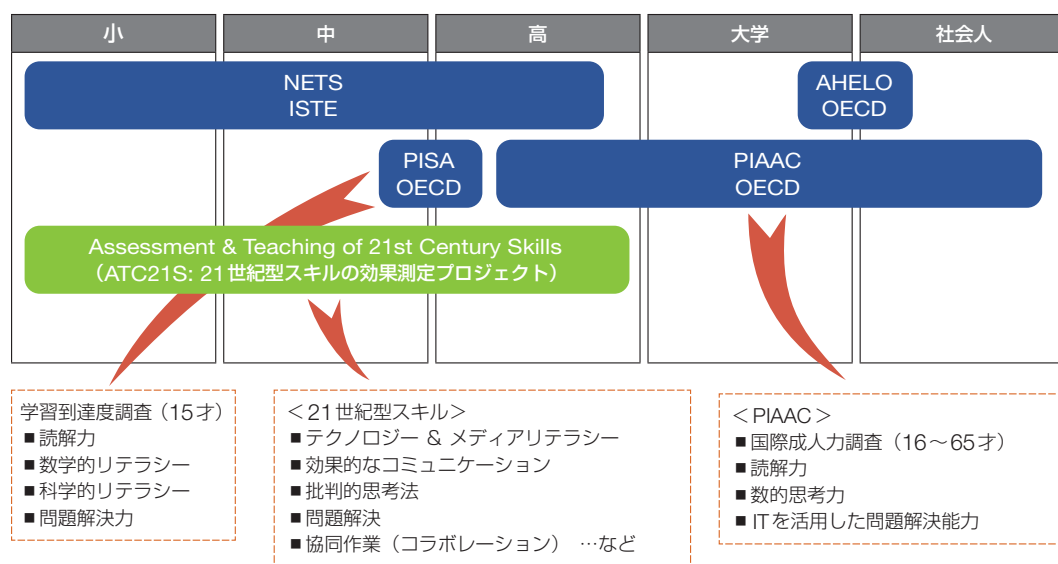
- P検のICTスキル体系は、「スキルマップ」として、P検公式サイトに公開しています。
- 企業向け職務分析（どのような職務にどのスキルがどのように活用されているか）の結果、その代表的な職務を「人物像・職務マップ」にマッピングして同サイトに公開しています。
- 代表的なICTプロフィシエンシーの「シーン」は、パンフレットに記載しています。

2 社会、世界が求める「ICTを活用した問題解決力」の資格試験

■ 社会、世界は、「ICTを活用した問題解決力」を求めています。

21世紀は「知識基盤社会」と言われ、情報を知識として有効に活用できるかどうかで、個人や企業の命運が大きく左右されることになります。

OECDの国際成人力調査（PIAAC）で、「読解力」や「数的思考力」と並んで、「ITを活用した問題解決力」が測定対象の能力として設定されているのも、まさにそのような理由からです。



■ P検は、「ICTを活用した問題解決力」を証明できる資格試験です。

2012年4月より、ICTプロフィシエンシー問題の投入、PISA、PIAACの評価項目の取り入れ、その他の改訂により、「知識・技能があるか」、「知識・技能を状況に応じて発揮して問題解決ができるか」を測り、証明できる資格試験となりました。

日本マイクロソフト株式会社

パブリックセクター統括本部
業務執行役員 文教本部長

中川 哲 様



日本の将来を見据えた資格試験！

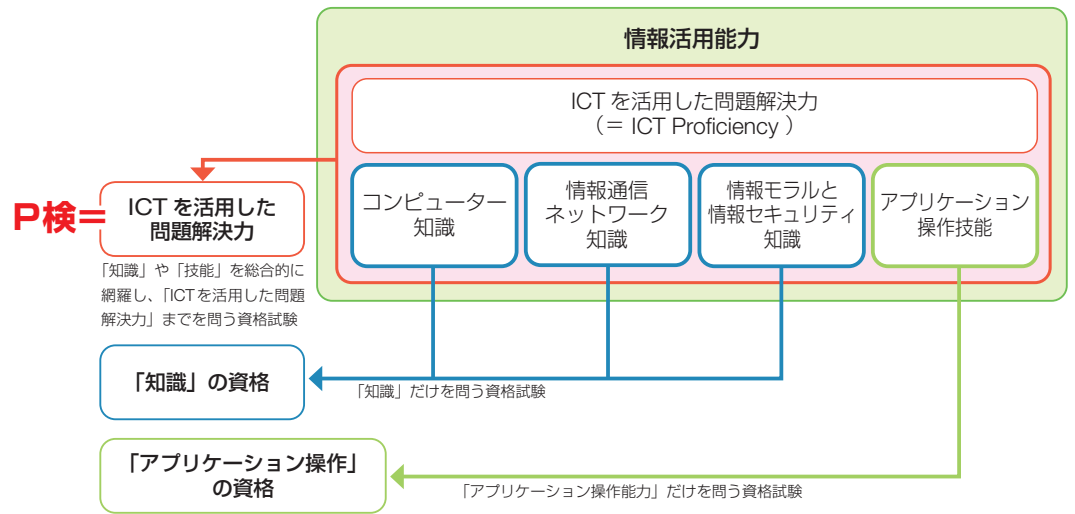
近年、交通手段とIT技術の発達によりグローバル化が急激に進み、また、クラウド等の進出により情報過多の時代に入っています。こういった背景の中で、次代を担う子ども達が社会へ出る前の準備として身に付けるべきスキルが変化してきていると考えております。

また、その時代の社会で活躍できる人材を育成することが学校や企業の役目ですし、日本の国際競争力向上のために必須だと存じます。

私どもでは子ども達に現代社会で役立つ「21世紀型スキル」を身に付けて頂くために日々活動しております。

今回、高校を中心に学校で広く認知、採用されているP検が、先んじて「問題解決型」の試験に対応されることはまさしく、日本の将来を考慮した結果だと存じます。
(2012年4月)

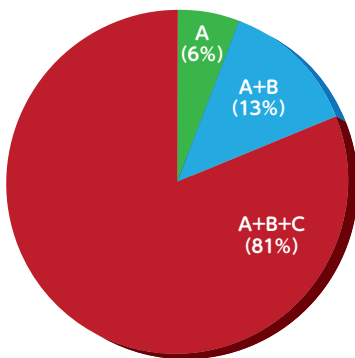
3 ビジネスで要求される「総合的なICT活用力」を網羅



4 企業が求める「ICTを活用した問題解決力」のP検

企業が求めているICT活用力は、断片的な知識・技能があるかないかではなく、「職務遂行上の課題や問題を、自身が有する知識や技能を発揮して解決することができる能力」という調査結果が出ました。(企業244社アンケート 2012年8月 P検事務局調査)

問：社員に対し、パソコンなどのICTツールを「どのレベルまで、活用できるスキル」を求めていますか？



A 6%

ワープロや表計算、プレゼンソフトなどの「ソフトウェア操作技能」まで

A+B 13%

Aに加え
ネットワークやコンピューター、そしてセキュリティや情報化に関する知識などの「ICT知識」まで

A+B+C 81%

A,Bに加え
ICTを活用して
 仕事の効率化を図ること
 業務プロセスの改革を推進すること
 情報を適切に管理・共有すること、など
 「ICTを活用した問題解決力」まで

＜協力企業＞

NTTラーニングシステムズ株式会社、NECソフト株式会社、インテル株式会社、株式会社ウチダ人材開発センター、株式会社エスケケイ、株式会社旺文社、株式会社大塚商会、岡三証券株式会社、株式会社小学館集英社プロダクション、日本マイクロソフト株式会社、富士通エフ・オー・エム株式会社 他 全244社

インテル株式会社

イノベーション事業本部 本部長
板越 正彦 様



新しいP検が拓く「生きる力」！

社会経済の変化が加速する中、「ムーアの法則」そしてインテルのテクノロジーを通じて見える未来では、私たち一人一人のライフスタイルや人生を、ICT利用が大きく変える可能性にあふれています。

これからのイノベーション社会でチャンスをつかみ、力強く生きて行くために、ICTを利活用した問題解決能力は極めて重要であります。それゆえ、問題解決のための情報活用力にウエイトをシフトした新しいP検の方向性は、次世代人材育成において、まさに必要とされるべき視点であると、我々は確信しています。

既に世界の多くの国では、従来の基礎学力に加え「21世紀型スキル」が教育に不可欠となり、ICTを利活用しながら思考・協働・表現に関わる力を磨き、様々な課題・問題解決への実践力を身につける方向性がもとめられています。

教育の世界的なパラダイム転換への対応が急がれる今、PISAも見据えたP検が拓く「生きる力」の可能性に、インテルは大いに期待いたしております。
 (2012年4月)

5 大学・短大の「入試優遇」・「単位認定」

入試優遇

●2021年4月入学入試

大学・短大「入試優遇」校：**429**大学・**1,017**学部

年度	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
学校数	428	438	447	449	452	429
学部数	1,055	1,101	1,106	1,078	1,071	1,017

単位認定

●2020年度授業

大学・短大「単位認定」校：**64**大学・**132**学部

年度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
学校数	75	73	72	71	68	64
学部数	170	153	157	152	144	132

※授業での評価含む

「入試優遇措置」の区分、内容、学部・学科（種別）、対象等級などに関する詳細、および「単位認定」の学部・学科、単位認定内容などに関する詳細は、P検公式サイトに掲載しています。



6 「ジュニアマイスター」、 「アグリマイスター」 選定資格

「ジュニアマイスター」顕彰制度とは

全国の工業系学科・工業高校に在籍する高校生が、各種の資格や検定等を取得した場合に、区分表に定められた点数が与えられ、その得点の合計が30点以上の場合ジュニアマイスターシルバー、45点以上の場合ジュニアマイスターゴールドの称号が授与される。

「アグリマイスター」顕彰制度とは

全国の農業系学科等に在籍する高校生が、各種の資格や検定等を取得した場合に、区分表に定められた点数が与えられ、アグリマイスターシルバー（30点以上45点未満）、アグリマイスターゴールド（45点以上60点未満）、アグリマイスタープラチナ（60点以上）の称号が授与される。

区分表（平成27年度・前期） P検合格者	1級	2級	準2級/3級	4級
ジュニアマイスター (主催：全国工業高等学校長協会)	12点	7点	4点	2点
アグリマイスター (主催：全国農業高等学校長協会)	12点	7点	4点	2点

分類と出題数

- 「ICTを活用した問題解決」カテゴリは、3つのサブカテゴリに分類され、「プロフィシエンシー問題」が出題されます。
- この分類は、OECD-PISAの問題解決領域の問題タイプを取り入れたものです。
- プロフィシエンシー問題とは、ICTの知識や技能を状況に応じて発揮して「問題解決」をさせる問題です。
- 以下表内の出題数は、大問の数であり、大問一つの中に小問が2～3問含まれます。
(参照: 下の問題例／大問には「状況」が与えられ、同じ状況下に小問が2～3問出題されます。小問の出題数は、右ページ表内の「出題数」をご覧ください。)

分類 (サブカテゴリ)		4級	3級	準2級	2級
(1) 意思決定	収集した情報、あるいは、与えられた情報や環境の下で、何らかの判断をもとに意思決定を行う問題	1問	1問	2問	2問
(2) システム分析と設計	相互に影響し合う要素から構成される仕組み(体系、制度、方式、組織)を解析したり設計する問題	1問	1問	1問	2問
(3) 不測事態への対応	トラブルや割り込み、予定からのズレ、第三者の誤りの修復などに対応する問題	-	1問	1問	1問

問題の解き方

ステップ 1

プロフィシエンシー問題は、文章や物語・解説、あるいは、情報を視覚的に表現した図やグラフ・表などから、問題解決に必要な情報を取り出すことから始まります。

ステップ 2

次に、取り出した情報を解釈し、意味を理解します。

ステップ 3

そして、既に持っているパソコンやインターネットなどの知識を活用して、その問題を解決するというステップで解答していきます。

- 情報を取り出す場合でも、一つだけの情報を取り出し、既に持っている知識との単純な関連付けだけで問題が解決できるものもあれば、見慣れない文章の中から、必要な情報を探し出し、細部を理解し、高度な知識を使って問題を解決するレベルもあります。
- プロフィシエンシー問題は、級毎の人物像に合わせて、「情報の取り出し」や「活用する知識」などに難易度を設定し、問題が作成されています。

3級問題例 (意思決定)

大問

小問に共通

<状況>
A引越会社では、月別と曜日別による引越しの平均件数を調べ、引越料金の設定に役立てようと考えています。

[問1]
グラフは、それぞれの引越し件数を示したものです。
最も引越し件数が少ない組み合わせを選択してください。

全体平均に対する月別平均

全体平均に対する曜日別平均

(1) 12月の水曜日
(2) 10月の日曜日
(3) 7月の月曜日
(4) 3月の木曜日

<状況>
A引越会社では、引越し件数の月別と曜日別による平均件数を調べ、引越料金の設定に役立てようと考えています。

[問2]
A引越会社では、引越し件数が少ない7月の平日に引越しをするお客様は、2割引、土日、祝日は1割引にすることをしました。
選択肢を移動して、フローチャートを完成させてください。

(1) 平日のお引越し?

(2) 土日・祝日のお引越し?

(3) 料金決定

```

graph TD
    Start([お引越しの申込みする]) --> Q1{7月?}
    Q1 -- No --> P1[1割引]
    Q1 -- Yes --> Q2{(1)}
    Q2 -- No --> P2[2割引]
    Q2 -- Yes --> P3[料金決定]
    P1 --> P3
    P2 --> P3
    P3 --> End([お引越し完了])
                    
```

[ICTプロフィシエンシー] を身に付けさせるためには、知識と技能をしっかりと習得した上で、仕事や生活上で現実に起こり得る「状況」を想定して、数多く「問題解決」の練習をすることが大切です。

<例>

- 模擬試験を数多くやらせてみる
- 模擬試験から別の「状況」を想定し、問題解決をさせてみる

小問 2



試験内容は変わることがあります。最新の試験内容については、P検公式サイトをご覧ください。(<https://www.pken.com>)

等級	区分	出題カテゴリー	出題形式	テスト時間 ※ 3		合格基準 (①②共に満たしている場合に合格)			受験料 税込 ()内は 「学割価格」	
				出題 形式別	合計	① カテゴリー別 ボーダーライン		② 総合得点基準		
						出題数	必要 正解数 (30%以上)			
ビジネス・イノベーション・リーダー (ICT活用によるビジネス価値の増大をリードできる人材)	1級 (1000点満点)	プロフィエンス	①情報セキュリティ管理 ②企業内ネットワーク構築 ③業務プロセス改革 ④ICTを活用した問題解決	選択式テスト・その他 論述テスト	90分	合計 90分	10問	—	<計 10問> ●1000点中700点以上 (70%以上の得点率) ●カテゴリー別ボーダーラインは無し ●受験条件: 2級以上の合格者であること	10,000円 (学割価格なし)
ICT活用スペシャリスト (ICT活用の総合力を有し、高いレベルで、ビジネス上の問題解決ができる人材)	2級 (800点満点)	一般問題	①コンピューター知識 ②情報通信ネットワーク ③情報モラルと情報セキュリティ	選択式テスト・その他	30分	合計 70分	8問	3問以上	<計 42問> ●700点中490点以上 (70%以上の得点率) (プロフィエンス問題は、1.2倍の配点ウェイトで得点計算します)	6,220円 (4,180円)
		プロフィエンス	④ICTを活用した問題解決	—			8問	3問以上		
		実技	⑤プレゼンテーション	実技テスト ※ 2	10分		8問	3問以上		
		プロフィエンス	⑥総合実技 ※ 1	複合成果物作成型実技テスト	30分		1課題	—		
ビジネスに要求されるICT活用スキルを有する人材	準2級 (700点満点)	タイピング	①タイピング	タイピングテスト	5分	合計 60分	—	—	●100点中/50点以上 (日本語375文字以上、あるいは英字638文字以上のいずれか) <計 56問> ●600点中390点以上 (65%以上の得点率) (プロフィエンス問題は、1.2倍の配点ウェイトで得点計算します)	5,200円 (2,550円)
		一般問題	②コンピューター知識 ③情報通信ネットワーク ④情報モラルと情報セキュリティ	選択式テスト・その他	29分		10問	3問以上		
			プロフィエンス	⑤ICTを活用した問題解決	—		10問	3問以上		
			実技	⑥ワープロ ⑦表計算	実技テスト ※ 2		13分	8問		
		実技	⑦表計算	実技テスト ※ 2	13分		9問	3問以上		
入社時に要求されるICT活用スキルを有する人材	3級 (600点満点)	タイピング	①タイピング	タイピングテスト	5分	合計 60分	—	—	●100点中/40点以上 (日本語300文字以上、あるいは英字510文字以上のいずれか) <計 57問> ●500点中325点以上 (65%以上の得点率) (プロフィエンス問題は、1.2倍の配点ウェイトで得点計算します)	5,200円 (2,040円)
		一般問題	②コンピューター知識 ③情報通信ネットワーク ④情報モラルと情報セキュリティ	選択式テスト・その他	29分		15問	5問以上		
			プロフィエンス	⑤ICTを活用した問題解決	—		10問	3問以上		
			実技	⑥ワープロ ⑦表計算	実技テスト ※ 2		13分	6問		
		実技	⑦表計算	実技テスト ※ 2	13分		8問	3問以上		
ICTの基本的な知識・技能を有する人材	4級 (400点満点)	タイピング	①タイピング	タイピングテスト	5分	合計 50分	—	—	●100点中/30点以上の得点 (日本語225文字以上、あるいは英字383文字以上のいずれか) <計 50問> ●300点中180点以上 (60%以上の得点率) (プロフィエンス問題は、1.2倍の配点ウェイトで得点計算します)	3,060円 (1,530円)
		一般問題	②コンピューター知識 ③情報通信ネットワーク ④情報モラルと情報セキュリティ	選択式テスト・その他	25分		15問	5問以上		
			プロフィエンス	⑤ICTを活用した問題解決	—		10問	3問以上		
			実技	⑥ワープロ ⑦表計算	実技テスト ※ 2		10分	5問		
		実技	⑦表計算	実技テスト ※ 2	10分		5問	2問以上		
5級 (100点満点)	一般問題	①コンピューター知識 ②情報通信ネットワーク ③情報モラルと情報セキュリティ	選択式テスト	15分	合計 15分	10問	—	<計 30問> ●100点中60点以上 (60%以上の得点率) ●カテゴリー別ボーダーラインは無し	無料	

P検免除テスト	P検タイピング	タイピング	タイピングテスト	5分	合計 5分	—	<P検タイピングの得点> <本試験での免除(スキップ)> 100点中50点以上の得点 ⇒ 準2級以下のタイピングカテゴリー免除 100点中40点以上の得点 ⇒ 3級以下のタイピングカテゴリー免除 100点中30点以上の得点 ⇒ 4級タイピングカテゴリー免除	無料	
	P検アプリ (得点率100%満点)	準2級	ワープロ 表計算	実技テスト ※ 2	15分	合計 30分	9問	6問以上	等級・カテゴリー別に、得点率60%以上で「合格コード」が発行されます。「合格コード」を使用すると、本試験で該当カテゴリーを免除(スキップ)することができます。
		3級	ワープロ 表計算		15分		合計 30分	8問	
		4級	ワープロ 表計算		15分	合計 30分	5問	3問以上	
				15分	合計 30分	5問	3問以上	1,000円 (200円)	

※ 1 2級⑥総合実技は、ワープロソフト、表計算ソフトを使用し、与えられた課題(目的)に基づいた成果物を作成するテストです。

評価は「1、指示の理解と把握」、「2、適切な操作」、「3、ビジュアル(ビジネス現場で通用する見栄え・見易さ)」について行われ、採点は、ヒューマングレーダー方式(人による採点)となっています。

※ 2 実技テストは、単一アプリケーションを起動し、課題に基づいて実技操作を行うテストです。

※ 3 テスト時間には、受験者情報入力時間、テスト開始前に説明を読んでいる時間、テスト画面が次のページへ切り替わる時間などは含まれていません。

●タイピングテストは、日本語入力(ローマ字、かな共通)の場合750文字、英字入力の場合1275文字が出題文字数となり、「入力文字数」÷「出題文字数」で得点が算出されます。(小数点以下四捨五入)

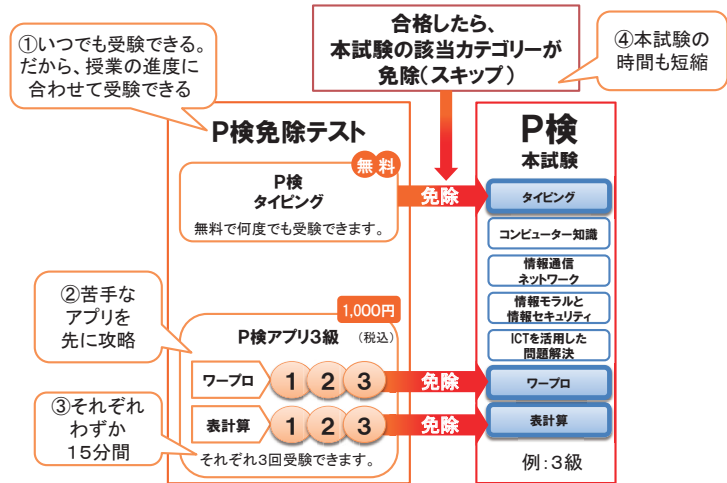
●日本語入力の場合は、「入力済みひらがなの文字数」によるカウントとなります。

●ワープロ(Word)、表計算(Excel)、プレゼンテーション(PowerPoint)の実技テストのバージョンは、f2019、f2016、f2013、f2010、f2007に対応しています。パソコンにインストールされているバージョンを使用してテストを行います。

●「選択式テスト・その他」には、選択式テストの他、等級により、メール操作、ファイル操作、疑似ブラウザ操作、ドラッグ&ドロップ、状況判断型テストなどの出題形式が含まれる場合があります。

「P検免除テスト」は、PASS認定校(認定試験会場)の受講生、
もしくはPASS認定校による出張実施の際にのみ提供されるものです。

- P検免除テストに合格すれば、P検本試験を受験する際に、該当の等級・カテゴリを免除 (スキップ) することができます。
- 免除 (スキップ) するカテゴリには、P検免除テストに合格した時の得点がそのまま適用されます。
- 「合格コード」は、同一年度内 (直近の3月末まで)、何回でもご利用いただけます。

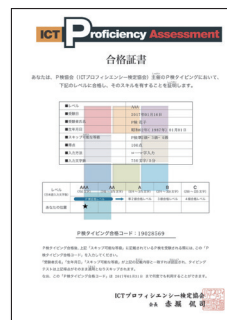
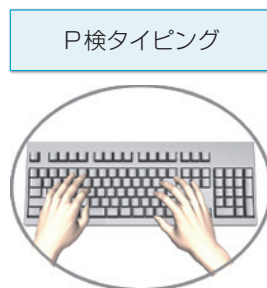


P検免除テスト	受験料	カテゴリ	試験時間	合格基準
P検タイピング	無料	タイピング	5分	準2級: 50点以上 3級: 40点以上 4級: 30点以上
P検アプリ 準2級、3級、4級	各級1,000円 (税込)	ワープロ	15分	得点率60%以上 準2級: 9問中6問以上正解 3級: 8問中5問以上正解 4級: 5問中3問以上正解
		表計算	15分	

※所要時間は、試験時間+5分程度とお考えください。

P検タイピング (無料)

タイピングカテゴリ免除! (スキップ)



① P検タイピングを受験

- 「無料」で「いつでも」実施できます。
- P検の本試験と同じ「タイピングテスト」です。(5分間)

② 合格証書を印刷

- 得点が、P検準2級、3級、4級それぞれの合格ラインに達すると「合格証書」の印刷ができます。(受験者が自分で印刷する仕組みです)

③ 「P検本試験」で「合格コード」を入力

- 「P検タイピング合格証書」に記載されている「合格コード」を入力してP検本試験を開始すれば、その得点を適用してタイピングテストを免除 (スキップ) することができます。
- 「合格コード」は、同一年度内 (直近の3月末まで)、何回でもご利用いただけます。
- P検本試験は有料です。

P検アプリ（各級1,000円税込）

◆ 「P検アプリ」の概要

- P検本試験（準2級、3級、4級）から、「ワープロ」「表計算」カテゴリーの問題だけを取り出したテストです。
- 「P検タイピング」（無料）と同様の仕組みで、合格基準に達すると合格コードが発行され、P検本試験を受験する際にそのコードを入力すると、該当カテゴリーが免除（スキップ）されるとともに、その得点が適用されます。
- 等級毎に受験申請をするだけで、ワープロと表計算を、それぞれ3回まで受験できます。
- 一日に一回しかログインができません。
- P検事務局から合格証書の郵送はなく、結果レポートを受験者が自分で印刷する仕組みです。



① P検アプリを受験

- P検の本試験と同じ「ワープロ」と「表計算」のテストでそれぞれ15分間です。

② 結果レポートを印刷

- 試験が終了すると、結果レポートが印刷できます。（受験者が自分で印刷する仕組みです）
- 得点率が、60%以上になるとワープロ、表計算それぞれに「合格コード」が発行（記載）されます。

③ 「P検本試験」で「合格コード」を入力

- 「P検アプリ結果レポート」に記載されている「合格コード」を入力してP検本試験を開始すれば、その得点を適用して該当カテゴリーを免除（スキップ）することができます。
- 「合格コード」は、同年度内（直近の3月未まで）、何回でもご利用いただけます。

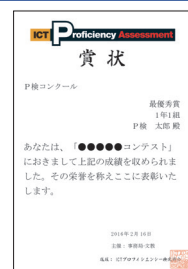
■ 「P検アプリ」について “よくあるご質問”

- 1) P検アプリは、級別に受験申請するのですか？
「はい、準2級、3級、4級の3種類があり、それぞれ1,000円（税込）となっています。」
- 2) ワープロ、表計算を別々に受験申請しなくていいのですか？
「はい、一回の受験申請でワープロと表計算がパックになっています。」
- 3) それならば、生徒が受験する際には、同時にワープロ、表計算を受験しなければならないのですか？
「いいえ、“受験者情報入力画面”の後に“アプリ選択画面”があり、そこで、ワープロだけ、表計算だけ、あるいは両方受験する等が選択できます。」
- 4) 3回受験できるとは？
「ワープロ、表計算をそれぞれ3回まで受験できます。ワープロを3回受験し、その後、表計算を3回受験する（計6回）ことも可能です。」
- 5) 例えば、1回目のワープロで合格コードが発行されると、2回目以降は受験できないのですか？
「いいえ、受験できます。本試験を受験する際に、この合格コードを入力すれば、P検アプリの得点が適用されます。例えば3級の本試験の場合、「全体の65%以上の得点率」という合格基準があります。これをクリアするために、少しでも良い得点を取りたいと考える生徒さんのために、合格コードが発行されても、3回まで受験することができます。」
- 6) では、3回受けたとして、1回目はWord 2007で合格、2回目はWord 2010で不合格、3回目はWord 2010で合格。こういう場合、どの得点が本試験に適用されるのですか？
「次の通りの優先順位で自動的に得点を取得します。①最高得点、②最高得点が同点だった場合は最新バージョン、③「①②」が同じだった場合は最新の受験日。」
- 7) 一日に連続何回まで受験できますか？
「残念ながら、一日に1回のログインしかできません。つまり、1回のログインでワープロと表計算を両方受験することも、表計算だけ受験することもできます。しかし、試験が終了してから、再度ログインすると、拒否されます。翌日以降なら再度ログインができます。」
- 8) 受験申請してからいつまで受験できるのですか？
「受験申請の際に登録される「受験日」に初回の受験をしてください。（ワープロか表計算のいずれかでも可です）2回目以降の受験は、直近の3/31まで有効となります。また、4/1以降はそれまでに発行された合格コードは全て無効となりますのでご注意ください。」

校内フリーコンクール（無料／WEB登録・印刷方式）

学校が主催・P検協会が後援する「校内コンクール」を、先生が自由に企画・実施できます。賞状は、WEB上で自由に生成・印刷することができます。

■ 申込条件	なし
■ コンクールの内容	コンクール名、順位名称、主催者名、生徒さんのお名前などを入力し、プレビュー画面で確認の後、印刷してご利用ください。表彰基準は学校側でご自由に決めていただいて結構です。
■ 申込方法	[試験管MENU] — [F.フリーコンクール] にログインし、案内に従ってご利用ください。



1 無料教材・ツール

■ タイピング練習ソフト

P検公式サイト ⇒ <https://www.pken.com>

- タイピング練習ソフトは、「インターネット版」と「ダウンロード版」の2種類があり、いずれもP検公式サイトからご利用いただけます。

- タイピング技法は、ICTを活用する上での基本であり、タイピングが苦手なままで放置しているとパソコンに慣れ親しむことができず、ひいては「ICTを活用した問題解決力（＝情報活用力）」も身につけられなくなってしまう恐れがあります。
- 逆にタイピング速度が「話すスピード」に近づく人にとっては、パソコンを単なる「清書ツール」としてではなく、自分の脳（思考力）の延長として活用することもできるようになります。

■ インターネット版

アクセスするだけですぐにご利用いただけます。（所要時間：1分～5分）



ホームポジション



日本語入力



英語入力



用語問題



英語問題



英語ことわざ



モラル・パソコン用語

※インターネット版は、「ソーシャル投稿対応」と「ソーシャル投稿非対応」の2種類を用意しました。学校内でご利用の場合は、「ソーシャル投稿非対応」の方をお奨めします。

■ ダウンロード版

各PCにダウンロードして使用するタイプ。
P検本試験と同じシステムを利用した本番に近いイメージの練習ソフト。

■ 模擬試験

- 本試験と同じ流れで、全てのカテゴリーが出題されます。解答方法や操作方法に慣れておくのに最適です。
- 以下の2つのサイトから異なるパターンの模擬試験をダウンロードしてご利用いただけます。

- PASSONLY ⇒ <https://www.pken.com/passonly>
- P検公式サイト ⇒ <https://www.pken.com>

無料 直前チェックドリル (完全準拠)

- 引き続き、無料提供いたします。「PASSONLY」よりダウンロードして自由に使うことができます。
 - P検の出題カテゴリー、スキル別にダウンロードすることができ、プリント教材として利用することができます。
 - 「解いて学べる」ドリルです。単に暗記するための教材ではなく、問題文を読みながら文脈から必要な知識とスキルが身につくように工夫されています。P検受験前の確認テストとして最適です。
- *なお、同じものを書籍として刊行しています。下記「有料教材」-「P検ドリル」および「情報活用ドリル」をご覧ください。

2級	準2級	3級	4級	5級
	○	○	○	

2 有料教材 (完全準拠)

以下の教材は、全てP検に完全準拠している「教材」です。

オフィシャル教材 (P検協会発行)

*価格には消費税 (10%) を含みます。

- P検に出題される全ての項目 (スキル、詳細スキル) を完全網羅。
- ご注文は、「PASSONLY」の「オフィシャル教材発注書」をご利用ください。(表紙のデザインは変更される場合があります)

P検「合格シリーズ」テキスト

- 出題カテゴリーが、Lesson別に学習できるセミナー形式の教材です。(Lesson毎の確認テスト付)



等級	価格 (税込)
1級	6,600円
2級	3,300円
準2級	2,200円
3級	2,200円
4級	2,200円

P検公式サイト、AmazonおよびPASS認定校、P検オフィシャル教材取扱い書店にて発売。

P検「ドリル」

- 「解いて学べる」ドリルです。(別冊：解答と解説付き)
- P検受験前の確認テストとして最適です。



等級	価格 (税込)
準2級	838円
3級	838円
4級	838円

P検公式サイト、AmazonおよびPASS認定校、P検オフィシャル教材取扱い書店にて発売。

《お知らせ》

「CS-One」(CD-ROM 教材) は、2020 年度版より販売中止となりました。

本教材の動画コンテンツにはAdobe Flashを使用しておりますが、Adobe Flashは2020年12月をもって終了となったため、大変申し訳ございませんが販売中止とさせていただきます。

▼高校以下の生徒さんの学習にご利用ください。

課題で学ぶシリーズ

- 課題を解きながら自然と知識・スキルが身に付きます。
- テキストには無料で「学習ノート」が付いています。



中学用 510円 (税込)
P検4級対応

高校用 720円 (税込)
P検4級～準2級対応

高等学校・中学校、PASS認定校専用教材 (直販教材)

*表紙などのデザインは変わることがあります。

情報活用ドリル

- 「解いて学べる」ドリルです。(別冊：解答と解説付き)
- P検受験前の確認テストとして最適です。

*上欄「P検ドリル」と内容は同じです。
(本書は、文教用に表紙、名称、価格を変えたものです)



等級	価格 (税込)
上級 (準2級)	200円
中級 (3級)	200円
初級 (4級)	200円

高等学校・中学校、PASS認定校専用教材 (直販教材)

高校生以下の受験は全て「学割価格」の適用となります。以下のご対応をお願いいたします。(詳しくはP検マニュアルの「画面遷移・解説」をご覧ください)

① 「受験区分」 選択画面

「受験者ログイン」画面後の「受験区分」選択画面で、「社会人(大学生以上)」であるか、「高校生以下(学割価格)」であるかを、基本的に試験官の方が選択してください。

P検 3級

■「受験区分」選択

社会人(大学生以上)

高校生以下(学割価格)

外部受付番号: 45363

※試験官認証番号: 008

次へ

③ 「試験官認証番号」 入力欄

「受験区分」で「高校生以下(学割価格)」を選択した場合は、「試験官認証番号」欄が表示されますので、高校生以下であることを確認し、「試験官認証番号」を入力してください。(「試験官認証番号」は、「試験官MENU」の「デイリーパスワード」と同じところにあります)

② 「外部受付番号」 入力欄

高校生以下で、「外部受付番号」をお持ちの受験者の場合は、「受験区分」選択画面の「外部受付番号」欄に「外部受付番号」を入力してください。これにより、「合否通知」は高等学校・中学校へ送付されます。「外部受付番号」が無い場合は、「合否通知」は個人・自宅への送付となります。

P検「文教」外部受験制度について

2013年4月1日より、P検「文教」外部受験制度を開始いたしました。

これは、ご登録いただいたPASS認定校(「『文教』外部試験会場」といいます)を、学校の情報教育を支援する「教育機関&試験会場」として、全国の高等学校・中学校に継続的にご紹介していくことをベースとし、PASS認定校の皆様と共に公教育への支援活動を行うというものです。詳しい内容および「文教」外部試験会場のご登録方法は、PASSONLYの「PASSマニュアル」-「『文教』外部受験制度」をご覧ください。

Q1. ワードやエクセルなどがインストールされていなくても実施できますか？

- 実技テストや総合実技テストが含まれている等級（2～4級およびP検アプリ）を実施する場合には、仕様で定められたアプリケーションソフトがインストールされている必要があります。（参照：P検実施マニュアル）

Q2. 複数のバージョンが入ったPCでも実施できますか？

- 仕様で定められたアプリケーションとそのバージョンが1つ以上インストールされていれば実施できます。但し、試験で使用するバージョンは1つとなり、以下のバージョンが自動的に選ばれます。

●ワープロ（Word）	最後に使用したバージョン
●表計算（Excel）	最後にインストールしたバージョン
●プレゼンテーション（PowerPoint）	最後にインストールしたバージョン

Q3. リカバリーソフトがインストールされていても実施できますか？

- はい、実施できます。以下は注意点です。
- リカバリーソフトがインストールされている場合は、再起動時に元の状態に戻されてしまいますので、「試験システム」も「CBTアイコン」も消えてしまいます。
- そのため、試験を実施する度に、「デ일리パスワード」を確認し、「試験システムのダウンロード」から行う必要があります。

<もう一つの方法>

- 事前に、試験システムの実行ファイルを1つだけダウンロード（「試験システムのダウンロード」の際、「実行」ではなく「保存」を選択）して、共有フォルダーに保存しておきます。
- 各PCから共有フォルダーにある実行ファイルをダブルクリックすると、受験者ログイン画面が表示されます。（複数PCからの場合便利です）

Q4. シンククライアントでも実施できますか？

- システム構成により異なりますので、事務局までお問い合わせください。

Q5. 試験中にインターネットが切断されたらどうなりますか？

- 試験システムは、「ログイン時」、「試験問題ダウンロード時」、「試験結果データアップロード時」の3回だけインターネットに接続し、それ以外は接続していません。従って、切断されても、すぐに復旧したのであれば、支障なく進められます。
- もしトラブルが発生した場合には、必ずエラーメッセージが表示され、ほぼ全ての状況から復旧させることができます。但し、リカバリーソフトが入っているPCで、再起動されると復旧が難しくなってしまいます。
- 復旧機能に関する詳細は、「P検実施マニュアル」をご覧ください。

P検

進化するICT社会のパスポート

DATA

2020年度（2020年4月～2021年3月）

年間受験者数／累計受験者数

■ 年間受験者数 (2020年4月～2021年3月)	P検	約78,000名
	P検タイピング	約71,000名
	P検アプリ	約21,000名
	合計受験者数	約170,000名
■ 累計受験者数 (1996年12月～2021年3月、P検タイピング・P検アプリを除く)		約2,101,000名

級別職業別合格率

	4級	3級	準2級	2級	1級
社会人（大学生を含む）	88.5%	85.9%	81.6%	69.3%	29.2%
高校生・中学生 (合格支援制度の「P検アプリ」利用なし)	68.9%	51.7%	48.1%	48.8%	—
高校生・中学生 (合格支援制度の「P検アプリ」利用あり)	83.4%	71.3%	72.6%	—	—

※合格支援制度の「P検アプリ」とは、4級～準2級の実技テスト（ワープロ、表計算）が事前に受験できる制度です。合格するとP検受験の際、該当の等級・カテゴリーが免除されます。

P検協会（ICTプロフィシエンシー検定協会）

〈お問合せ先〉

Tel : 03-5229-0045

Mail : pass@pken.com

2022年4月～2023年3月

<https://www.pken.com>